

看護学教育研究共同利用拠点
令和2年度看護学教育ワークショップ 実施要項

1. テーマ : 看護学教育支援における ICT 活用の可能性

2. 主旨

このたびの新型コロナウイルス感染症の影響により、感染者数の多い地域の大学では、これまで対面で行っていた教育支援方法を変える必要に迫られた。医療機関への立ち入りが困難になり、実習の運営が困難になった例も多い。しかし、そのような社会状況に直面しても、看護学教育の本質を見失わず、様々な工夫で教育が行われている。これを契機に、教育における ICT 化をすすめた例もある。

そこで、本年度のワークショップでは、看護学教育における ICT 活用の可能性をテーマとした。看護学教育は、伝統的に対面での授業や演習、臨地での実習によって行われてきており、それが特徴でもある。しかし、国は、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会として、Society 5.0 を提唱している。IoT（Internet of Things）により、今までにない新たな価値を生み出すことや、社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会となることが期待されている。

そのような未来に向かい、看護学教育における ICT 活用の可能性と、方法は変わっても堅持したい看護学教育の本質と可変可能な方法の柔軟性について検討する場としたい。

3. 目的

講演では、参加者が、看護学教育支援における ICT 活用の経験や実践知を共有し、ICT 活用の可能性について示唆を得る。

全プログラムの参加者では、講演で得られた示唆に加えて、自大学の現状分析にもとづき、WEB 会議によるグループワークに自ら参加する経験もいかして、自大学における看護学教育への ICT 活用の可能性、課題を検討できることを目的とする。

4. プログラム概要

「講演のみ（WEB 配信）」と「全プログラム（講演+ZOOM によるグループワーク）」の2種類の参加方法があります。

1) 講演 WEB 配信

(1) 日時

10月21日（水）～11月10日（火）まで

※全プログラム参加者は必ずグループワークの前までにご視聴ください。

(2) 講演内容

- ・「ICT を活用したグループワーク～コロナ禍での模索のプロセスと課題」
宮城大学看護学群 教授 大塚真理子 氏
- ・「ICT を活用した学内実習・演習（仮）」
東京医科大学医学部看護学科長 阿部幸恵 氏
- ・文部科学省「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う対応について」の解説
文部科学省高等教育局医学教育課 看護教育専門官 高橋良幸 氏

どれも、20～30 分の講演とセンター教員との質疑応答 10 分で構成する
視聴後にアンケート（質問を含む）を回収
質問への講師からの回答を後日、参加者にフィードバックする。

2) グループワーク WEB 会議（全プログラム参加者のみ） 10月27日（火）と事前資料提出

(1) 目的

自大学の現状分析にもとづき、他大学とのピアコンサルテーションを通して、また WEB 会議

によるグループワークに自ら参加する経験もいかして、自大学における看護学教育への ICT 活用の可能性、課題を検討する。

(2) すすめかた

6名程度のグループ単位で、事前資料の共有と当日の会議をすすめる。
各グループに担当センター教員が入る。(ZOOMの会議主催者となる。)
事前資料は、CQIワークシート(AとBの1)を活用する。
送付等の詳細は、別途連絡する。

10月27日(火)のZOOMによるグループワーク

10時～11時半

13時半～15時

5. 主催

看護学教育研究共同利用拠点 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

6. 実施方法

(1) 日程 上記プログラム概要のとおり

(2) 定員 【講演のみ】 定員なし
【全プログラム】 24名

(3) 参加要件 【講演のみ】 どなたでも参加できます。
【全プログラム】

看護系大学において、組織的な教育の質改善(CQI)を推進する教員
原則として、准教授以上とし、以下の①～②を充たすことといたします。

① WEB講演の視聴及びZOOMによるグループワーク全てに参加できる。

(参加者全体への影響がありますので、途中参加・退席は認められません)

②自大学に関する情報を収集し、事前資料を提出できる。(A4用紙1枚半程度、グループワークを円滑にする目的なので、書ける範囲で構わない)。

【推奨OS環境】「Windows7」以降 (Windows)、「Mac OSX」以降 (Macintosh)

【推奨ブラウザ】「Google Chrome」、「Firefox」、「MS Edge」、「Safari」

古いバージョンのブラウザだと再生できない場合がございます。

動画を視聴する際には、最新版のブラウザを使用することを推奨いたします。

(6) 参加申込 【講演のみ】

本センターホームページ(<https://www.n.chiba-u.jp/center/>)にある看護学教育ワークショップ申し込みフォームより、お申し込みください。

*申し込み〆切：10月6日(火) 17時

【全プログラム】

看護師等養成課程を置く学部等の長の推薦が必要です。本センターホームページ(<https://www.n.chiba-u.jp/center/>)より所定の「参加申込書」をダウンロードし、看護学教育ワークショップ申し込みフォームにPDF添付の上、お申し込みください。

*申し込み〆切：9月30日(水) 17時

(7) 参加者決定

【講演のみ】

お申し込み確認後、必要事項（振込先等）をメールにてご連絡いたします。

【全プログラム】

10月9日（金）に、参加の可否をメールにて通知します。定員を超える応募者があった場合は、参加申込書等を参考にして決定させていただきます。

※参加の可否を、事前にご確認願います。

※ZOOMの接続等に関することは、別途ご連絡いたします。

(8) 参加費 【講演のみ】 5,000円

【全プログラム】 20,000円

※ 参加決定の連絡の際に、振り込み先をご案内します。

(9) 修了証書 全プログラムに参加した方を、修了要件を満たしたと評価し、千葉大学大学院看護学研究科より修了証書を授与いたします。

7. 注意事項

(1) 申込み受付後の受講料の返金はいたしません。

(2) 大規模な地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等により、研修の開催が困難であると主催者が判断した場合、全てあるいは一部のプログラムを中止することがあります。この場合、受講料の返金はいたしません。

(3) 資料の送付、修了証書の発行等につきましては、研修の進行状況等により判断させていただきます。

8. 個人情報の取り扱い

看護学教育ワークショップへの申込みの際に提出された「参加申込書」等に記載の個人情報については、看護学教育ワークショップ業務及びセンター年報への名簿掲載のために利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

9. お問い合わせ先

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学亥鼻地区事務部総務課総務第三係（センター研修担当）

TEL : 043-226-2464

FAX : 043-226-2382

メール : kango-cqi@chiba-u.jp